

事務事業名		地方交付税事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり				担当組織	担当部	総合政策部	担当課	財政課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり				担当係	財政係	担当課長名	金子好雄	
	施策	2 持続可能な財政運営の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 歳入に見合った歳出構造への転換				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	1017	一般	2	1	4	地方交付税事務				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業	
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	地方交付税法				
	実施方法		実施方法		直営		事業分類		その他内部事務事業	
	リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・普通交付税の算定のため、基準財政需要額及び基準財政収入額に関する資料(各種基礎数値の補足)を作成し県を通じて国へ報告をする。また、特別交付税の算定に用いる資料(特別の財政需要の補足)を作成し県に報告する。これらの数値を基に国が交付税額を決定する。			・普通交付税は、前年度末から6月にかけて基準財政需要額及び基準財政収入額に関する資料(各種基礎数値の補足)を作成し県に報告した。 ・特別交付税は、8月から年度末にかけて算定に用いる資料(特別交付税の財政需要の補足)を作成し県に報告した。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
補足した数値の報告回数			回	49	50	50				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
国が必要とする算定費目			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
補足した数値が基礎となる算定費目数			費目		119	107	107			
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
正確に把握し報告する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
隔年実施の交付税検査での錯誤措置件数			件	8	—	8				
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
健全財政が維持されている			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
実質公債費比率			%	6.3	5.6	10.0	10.0	10.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	20	19	15					
	事業費計(A)	千円	20	19	15	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	20	消耗品費	19	消耗品費	15		
	人件費	人	2	2	2					
のべ業務時間	時間	750	750	750						
人件費計(B)	千円	2,918	2,956	2,956	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,938	2,975	2,971	0	0				

事務事業名	地方交付税事務	担当部	総合政策部	担当課	財政課	担当係	財政係
-------	---------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和25年度に創設された制度であり、地方交付税法第5条第2項の「市町村長は、総務省令で定めるところにより、当該市町村の基準財政需要額及び基準財政収入額に関する資料、特別交付税の額の算定に用いる資料その他必要な資料を都道府県知事に提出するとともに、これからの資料の基礎となる事項を記載した台帳を備え…」に基づいている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	財源不足に関する地方交付税法第6条の3第2項の対応について、平成8年度以来連続して財源不足を生じている。このことを踏まえると、国において法定率等の見直し等を含めた、早急の検討が必要となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	地方交付税の予算額や決算額及び臨時財政対策債と地方交付税の関係等に対する議会での質問が毎年度なされている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	正しく基礎数値や特別の財政需要を補足し、適正な地方交付税を確保することにより、歳入を確保し持続可能な財政運営の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	地方交付税法により、市町村長に義務付けられている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	地方交付税法で必要とする測定単位に基づいて算定しており対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	国において示された算定費目による交付税の算定のため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費は、最低限の消耗品のみであるので、削減の余地はない。 人件費は、国から提出を求められた交付税算定のための資料作成であるため、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市の財政運営に関することであり、受益者は市民全体となるため、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		地方交付税制度が存在する限り、休止・廃止することができない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					